

「福岡教育大学との連携による研究プロジェクト」＜ICT教育部門＞の報告
 (モデル校 河東西小学校 小中一貫授業交流会の授業から 6/17)
 「ICT活用実践マニュアル」を基にして授業で使用するICT機器の活用と管理に関する研修を企画実施する



4年生の算数の授業・電子黒板と通常の黒板を併用しての授業
 児童の姿勢が学校中で一番よかったクラス。学習規律はどんな授業でも大切です。

3年生社会の授業 電子黒板には宗像市の地図を拡大して映し出しています。

○21学級中ICT機器を活用した授業を9学級が実施した。
 ○電子黒板は各学年1台導入している。電子黒板の順番でない学級では実物投影機やTVを活用して手作り教材を使っ
 ての授業が実施された。



特別支援学級の授業
 高学年の児童
 自立活動の授業
 自分の性格について考え「私
 カード」をつくる授業
 わからない言葉をパワーポ
 イントで調べながらの授業
 みんな一所懸命です。



6年生の家庭科の授業
 学級担任と栄養士の先生の
 TTの授業
 朝食について振り返りながら
 朝食の大事さを考える
 栄養バランスの教材をTVに
 写しながら活用



2年生 図画工作の授業
 粘土で自分のイメージしたも
 のを創る。児童の作品を実物
 投影機で電子黒板に写して
 紹介、クラスの児童の作品が
 写し出されるたびに大きな歓
 声が教室に響きます。

6年生の外国語活動と理科の
 授業中学校からの兼務教員と
 学級担任とのTTの授業



福岡教育大学の古川先生から
 教師の手作りのパワーポイントを電
 子黒板に写して活用している。
 このような使い方が長続きする。
 夏休み中にタブレットの活用方法に
 ついて研修していくようにしたい。

「福岡教育大学との連携による研究プロジェクト」＜外国語活動＞の報告
 モデル校(赤間小学校の最初の授業から 6/19)
 ＜目的＞外国語活動における書き言葉の体験を促すタスク活動の企画検討実施



授業のはじめ
 ALTのシタウラ先生と学級担任の出田先生が前に立って英語で挨拶。児童も英語で挨拶。HRTの出田先生が上手に挨拶を促していた。

＜赤間小学校の出田・竹原外国語活動担当者から＞
 ○昨年度まではALTがいれば授業のすべてをALTに任せていた。今年度からは職員会議で共通理解を図り学級担任が主でやることを少しずつ取り入れるようにした。HRTが外国語活動を担当することをめざしていく。



ALTのシタウラ先生の手作り教材で繰り返し練習
 ICT機器で写して既習の基本センテンスの繰り返し練習をテンポよく行う。

福岡教育大学 英語教育講座 中島教授・吉武准教授から
 ○ALTの先生の英語のシャワーが子ども達の中にとりと染み入るようなシャワーにしていく必要がある。
 ○外国語活動の教科化や低学年化に対応して、今後は目的意識や必然性を大事にした授業展開を大学と学校現場で作成していく必要がある。



今日学習する新しいセンテンスを使ってALTが英語で説明 すべて英語で行われる。



児童は一言も聞き漏らしてはいけないとばかり聴き取ろうとして必死の表情です。眉間にしわをよせるほど真剣です。

ALTの英語の説明を真剣に聴く児童
 HRTが児童の様子を見守りながら、説明を補足したり、声を出して発音するように励ます。HRTが入り込むことで安心して授業に集中することができていた。



新しい基本文型でペア活動
 隣の人に「Do you like～」を使って質問
 代表で発表(左の写真)
 全員でペア活動の実施(右の写真)